

南アルプスユネスコエコパーク
管理運営計画（静岡市域版）
実行計画 年次報告書（平成30年度）



令和元年12月

静岡市

《目 次》

1	はじめに	1
2	評価指標の状況	2
3	平成30年度の実施内容	3
	1 自然環境の保全（生物多様性の保全の機能）	3
	2 調査と教育（学術的研究支援の機能）	8
	3 地域の持続的な発展（経済と社会の発展の機能）	15
	4 理念の継承と管理運営体制の構築 （3つの機能を支える連携機能）	29
4	関連組織の活動状況	31
5	モニタリング実施状況	38
6	実行計画 総合分析	46

1 はじめに

この年次報告書は、「南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画（静岡市域版）実行計画」（以下、「実行計画」という。）に掲載した事業の進捗を把握し、適切な見直しを行うとともに、市民をはじめとした多くの方に、本市における南アルプスユネスコエコパークの取組をお知らせするために発行するものです。



南アルプスライチョウサポーター養成講座（首都圏会場）



安倍6村合併50周年記念事業「オクシズコミュニティNEXT50」
井川村・静岡市 合併50周年記念式典

2 評価指標の状況

本市では、南アルプスユネスコエコパークの取組を推進するにあたり、4つの基本方針の柱を掲げています。

実行計画では、この柱に基づき実施する事業の評価指標を掲げており、その進捗を次に示します。

【凡例】◎：達成 ○：概ね達成（達成見込み） △：要調整 ×：未達成（達成困難） -：中止

基本方針の柱	評価指標・平成30年度目標値	進捗状況			
		27年度	28年度	29年度	30年度
自然環境の保全	南アルプスの自然への関心度 (★) 48% (平成27年度) → 54%	48%	69%	72%	66%
		基準年度	○	○	◎
	ライチョウが市内に生息していることを知っている人の割合 (★) 18% (平成27年度) → 24%	18%	44%	49%	37%
	基準年度	○	○	◎	
	南アルプス主要地域の高山植物種数 15種 (平成25年度) → 15種	14種 (31種) ○	14種 (35種) ○	13種 (34種) ○	13種 (31種) ○
調査と教育	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家利用学校の南アルプスユネスコエコパークの認知度 利用校の約6割が80%以上 (平成27年度) → 全校80%以上	利用校の約6割が80%以上 基準年度	利用校の約8割が80%以上 ○	利用校の約6割が80%以上 △	利用校の約4割が80%以上 ×
	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家利用学校教員のユネスコエコパークの理念の認知度 76% (平成27年度) → 100%	76% 基準年度	86% ○	76% △	84% ×
	自然体験活動等指導者数 6人/年 (平成27年度) → 10人/年	6人/年 基準年度	8人/年 ○	7人/年 ○	5人/年 ×
地域の持続的な発展	井川地域を訪れてみたいと思う人の割合 (★) 81% (平成27年度) → 84%	81% 基準年度	91% ○	90% ○	86% ◎
	南アルプスに登ってみたいと思う人の割合 (★) 53% (平成27年度) → 56%	53% 基準年度	80% ○	70% ○	62% ◎
	井川地域内施設入込客数 160.3千人 (平成25年度) → 168.3千人	137.1千人 ○	151.1千人 ○	158.5千人 ○	129.9千人 ×
体制の構築 と管理運営 理念の継承	南アルプスユネスコエコパークの認知度 (★) 51% (平成27年度) → 54%	51% 基準年度	48% △	48% △	47% ×

※★印は平成27年度及び平成30年度市政アンケートモニター調査により把握した指標。平成28、29年度については各種イベント等でのアンケート結果を参考数値として記載。

※高山植物種数 () 内数は確認された全ての高山植物種数。基準年度に確認された15種から同調査区域において大幅に種数が増加していることを考慮し評価した。

3 平成30年度の取組内容

1 自然環境の保全（生物多様性の保全の機能）

（1）南アルプスの自然環境の保全

南アルプスの自然環境の保全を進めるうえでの考え方を示している項目であるため、個別事業は掲載していません。

（2）つながりを意識した一体的な保全

1）連携・協働体制の強化

【組織No.6】南アルプス自然環境保全活用連携協議会ニホンジカ対策WG（旧南アルプス高山植物等保全対策連絡会） P33参照

【組織No.7】南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会 P33参照

【組織No.9】南アルプス自然環境保全活用連携協議会（旧南アルプス世界自然遺産登録推進協議会） P34参照

2）来訪者のルール作りと啓発活動の推進

【事業No.18】静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の啓発事業

① ホームページによる啓発

静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例に関する情報（条例制定の目的、適用を受ける林道、通行許可に関する情報、禁止行為、通行規制等）を静岡市ホームページに掲載し、条例の啓発を行った。

利用者の利便性を高めるため、ホームページに条文、林道地図、通行許可に係る審査基準、林道規制情報等のリンクを貼り、関連する情報に容易にアクセスすることができるようにした。

また、林道規制情報は、冬期閉鎖終了後速やかに情報を更新し、利用者に最新の通行情報を提供した。

URL : https://www.city.shizuoka.lg.jp/136_000008.html

② 現地への標識設置による啓発

南アルプスユネスコエコパーク登録地域内の林道標識で条例の啓発事項を加えた標識（18箇所）について、定期的な点検などの維持管理を実施した。

また、林道東俣線についても、通行許可が必要な旨及び条例で禁止されている行為に関する標識を定期的に点検し、条例の普及啓発を図った。

【組織No.9】南アルプス自然環境保全活用連携協議会（再掲）

（3）高山帯から山麓に広がる自然環境の保全

1）高山植物の保護に向けた取組の推進

【事業No.13】高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

① 防鹿柵の設置・維持管理

ニホンジカの食害等から高山植物を保護するため、防鹿柵の立上、養生撤去、維持管理等を行った。

[平成30年度設置場所]

- ・中岳避難小屋周辺（クロユリ群生地）
約 189m²（既存）
- ・千枚小屋周辺（オオサクラソウ生育地）
約6,667m²（既存）
- ・熊の平小屋周辺 ※試験設置、常設
約 3.84m²（既存）



クロユリ



オオサクラソウ



防鹿柵の設置状況

② 自動撮影カメラの設置

ニホンジカの生息状況を調査するため、千枚小屋周辺防鹿柵の周辺に自動撮影カメラを設置した。

③ 高山植物保護セミナーの開催

高山植物保護に取り組む人材の育成、環境保護意識の向上のため、市内高等学校の山岳部・登山部員を対象に、ニホンジカによる高山植物への食害を学ぶとともに、高山植物保護活動を体験するセミナーを開催している。

平成30年度は、榎島周辺の植生観察や千枚小屋周辺の植生調査、防鹿柵の維持管理体験学習等を実施した。



千枚小屋周辺植生調査

[セミナー概要]

開催日：平成30年8月12日（日）～14日（火）

場所：千枚小屋周辺等

参加者数：4校15人（静岡高校山岳部、静岡東高校登山部、清水東高校山岳部、静岡聖光学院高校山岳部）

[過去の開催状況]

- 平成29年度 4校29人参加（2泊3日）
- 平成28年度 3校24人参加（1泊2日を3回、7月～9月にそれぞれ実施）
- 平成27年度 3校23人参加（座学のみ）
- 平成26年度 5校28人参加（2泊3日）
- 平成25年度 3校16人参加（2泊3日）

【組織No.6】南アルプス自然環境保全活用連携協議会ニホンジカ対策WG（旧南アルプス高山植物等保全対策連絡会）（再掲）

2) ライチョウの保護に向けた取組の推進

【事業No.14】ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

① ライチョウの生息状況把握調査

環境省が策定したライチョウ保護増殖事業計画（以下、「増殖計画」）では、ライチョウの生息環境を圧迫している推定要因がいくつか挙げられているが、その要因の特定は現時点で困難とされている。また、増殖計画では、今後の調査分析により、その要因を明らかにすることが目標のひとつとされていることから、ライチョウ生息・繁殖状況の現地調査及び生息環境圧迫要因調査として、ライチョウを捕食している可能性がある生物に係る文献調査や現地調査による生息状況調査を行った。

調査結果の概要については、P39「5（2）モニタリングの概要」を参照

② 普及啓発事業

ア) 南アルプスライチョウサポーター養成講座の開催

ライチョウの生息状況を登山者等と継続的に調査するため、調査能力を持ったサポーターを養成する講座を開催し、参加者を「南アルプスライチョウサポーター」に認定した。

[静岡会場]

開催日：平成30年5月26日（土）
会場：静岡県総合研修所「もくせい会館」
参加者数：80人

[首都圏会場]

開催日：平成30年5月27日（日）
会場：東京都新宿区
参加者数：75人

その他山梨会場、長野会場と合わせて講座を4回開催。新たに365名をライチョウサポーターに認定し、38件の発見情報が寄せられた。また、希望者へのメール配信を14回実施した。

イ) フォローアップ研修の実施

認定したライチョウサポーターを対象に、引き続き南アルプスやライチョウに関心を持ち続けてもらうため、フォローアップ研修として「ライチョウ勉強会」を開催した。

[静岡会場]

開催日：平成31年1月19日（土）

会場：ふじのくに地球環境史ミュージアム

参加者数：35人

[首都圏会場]

開催日：平成31年1月26日（土）

会場：東京都台東区

（東京都恩賜上野動物園）

参加者数：42人



フォローアップ研修会

ウ) 南アルプス関連イベントでの情報発信

ライチョウの普及啓発を図るため、南アルプス関連イベントにてパネル展示等による情報発信を計11回実施した。

3) 自然環境の保全と生態系バランスを考慮した保全手法の検討・実施

【事業No.10】 南アルプス環境調査

南アルプス地域内における中央新幹線建設事業の実施に伴う環境変化を把握するため、南アルプスユネスコエコパーク登録地域及びその周辺地域において現在の自然環境の状況等を調査し、その結果を公表した。

調査結果の概要については、P39「5（2）モニタリングの概要」を参照

[調査項目]

動植物（植物、哺乳類、鳥類、両生類・爬虫類、淡水魚類、昆虫類、底生動物）

[調査結果公表HP]

https://www.city.shizuoka.lg.jp/041_000081_00007.html

【事業No.13】 高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.14】 ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【組織No.6】 南アルプス自然環境保全活用連携協議会ニホンジカ対策WG（旧南アルプス高山植物等保全対策連絡会）（再掲）

【組織No.7】 南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会（再掲）

【組織No.8】 静岡市南アルプス世界自然遺産登録学術検討委員会

P34参照

4) 自然景観への配慮

【事業No.10】 南アルプス環境調査（再掲）

【事業No.13】 高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【組織No. 4】 静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会 P 31参照

【組織No. 5】 静岡県中央新幹線環境保全連絡会議 P 32参照

5) 新たな開発等への対応

【事業No.10】 南アルプス環境調査（再掲）

【事業No.18】 静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の啓発事業（再掲）

【事業No.19】 南アルプスユネスコエコパーク地域内林道の管理

① 林道管理

静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例に基づき、南アルプスユネスコエコパーク登録地域内の林道18路線を適正に管理する目的で、林道の路面や法面の状況及びガードレール、カーブミラー、橋梁等の施設の状況を点検するためのパトロール業務を実施した。

② ゲート管理

静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例に基づく通行許可が必要な林道東俣線の通行車両を適正に管理するため、全ての車両について、起点ゲートにおける通行車両の管理（許可の有無の確認、緊急車両の出入管理、夜間の施錠等）及び冬期閉鎖期間中のゲートの施錠点検等を実施した。

また、夜間や冬期閉鎖期間のゲート管理を徹底するため、夜間・冬期に通行する許可車両を把握できるよう、林道起点ゲートにおいて監視カメラによる車両の確認とポストを設置し、入退場時に通行カードを投函するよう求めている。

【組織No. 2】 静岡県中央新幹線工事調整連絡会 P 31参照

【組織No. 3】 静岡市中央新幹線整備対策本部 P 31参照

【組織No. 4】 静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会（再掲）

【組織No. 5】 静岡県中央新幹線環境保全連絡会議（再掲）

2 調査と教育（学術的研究支援の機能）

（1）自然や文化を学び、心を育てる環境整備

1）南アルプス教育の推進

【事業No.14】ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.17】南アルプス教育推進支援事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

- ・市内小中学校へ南アルプスユネスコエコパーク教育ビデオを貸し出した。
貸出件数：1件 使用目的：井川自然の家利用事前学習
- ・ライチョウ親子模型、ライチョウパネル及び南アルプス・井川地域ジオラマを活用した出前授業を実施した。

(1) 静岡市立麻機小学校 ※井川自然の家と共同実施

日 時：平成30年9月10日（月）

場 所：静岡市立麻機小学校 5年生81人

(2) 静岡市立清水小島小学校（近隣3校での合同授業）

日 時：平成30年9月19日（水）

場 所：静岡市立清水小島小学校

参加校：清水小島小学校、清水小河内小学校、
清水宍原小学校の3年生36名



出前授業

- ・静岡型小中一貫教育「しずおか学」副読本作成に係る資料等を提供した。
- ・市内全小学3年生を対象に、環境学習ハンドブック「南アルプスの大自然」を配布した。
- ・環境学習ハンドブック「しずおかの宝 南アルプスユネスコエコパーク」を新たに作成した。
- ・南アルプスユネスコエコパーク教育ビデオを活用した学習を取り入れてもらうため、「南アルプスユネスコエコパーク教育ビデオの手引書」を校長会にて紹介するとともに、市ホームページにて公開した。

【事業No.37】自然体験活動指導者育成講座

自然体験活動を推進できる人材を育成するため、井川自然の家にて各種講座を開催し、受講者を自然体験活動指導者として認定した。

また、希望者は、静岡市環境学習指導員や静岡県初級青少年指導者の資格もあわせて取得した。

昨年度の課題を踏まえ、今年度の講座では井川の自然や文化を幅広く学ぶプログラムを充実させた。

〔講座内容〕

- ・アイスブレイク
- ・青少年教育と自然体験活動

- ・指導者としての心構えとリスクマネジメント
- ・普通救急救命講習
- ・ネイチャーゲーム、ガイドハイク、ナイトハイク、ウォークラリー、野外炊飯活動（エコクッキング）、テント設営
- ・活動プログラムの立案
- ・主催事業への参加による技術の実践 等

[認定指導者数] 5人

【事業No.38】南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業

広く市民に井川の地域資源の魅力を伝えるため、小中学生や家族を対象とした各種イベントや、送迎バス付利用促進事業を開催した。

① 小中学生対象

[トム・ソーヤスプリングキャンプ]

開催日：平成30年5月12日（土）～13日（日）
 募集人数：72人 応募者数：135人（応募率：188%）
 参加人数：70人



トム・ソーヤスプリングキャンプ

[トム・ソーヤサマーキャンプ] (中止)

開催日：平成30年8月8日（水）～11日（土）
 募集人数：36人 応募者数：72人（応募率：200%）
 参加人数：—

[トム・ソーヤオータムキャンプ]

開催日：平成30年9月29日（土）～9月30日（日）
 募集人数：90人 応募者数：170人（応募率：189%）
 参加人数：89人

[トム・ソーヤスキーキャンプ1月]

開催日：平成31年1月12日（土）～14日（月）
 募集人数：40人 応募者数：75人（応募率：188%）
 参加人数：39人



トム・ソーヤスキーキャンプ

[トム・ソーヤウインターキャンプ1月]

開催日：平成31年1月19日（土）～20日（日）
 募集人数：60人 応募者数：110人（応募率：183%）
 参加人数：99人

[トム・ソーヤスキーキャンプ2月]

開催日：平成31年2月16日（土）～17日（日）
 募集人数：40人 応募者数：47人（応募率：118%）
 参加人数：34人

[トム・ソーヤウインターキャンプ2月]

開催日：平成31年2月23日（土）～24日（日）
 募集人数：54人 応募者数：137人（応募率：228%）

参加人数：99人

② 家族・グループ対象

[井川de山菜グルメ]

開催日：平成30年4月28日（土）～29日（日）
募集組数：14組 応募組数：21組（応募率：150%）
参加人数：14組



井川 de 山菜グルメ

[井川deトレイルランニング入門]

開催日：平成30年5月27日（日）
募集人数：50人 応募人数：45人（応募率：90%）
参加人数：36人

[井川deバーベキュー]

開催日：平成30年6月9日（土）～10日（日）
募集組数：14組 応募組数：15組（応募率：107%）
参加人数：13組



井川 de バーベキュー

[井川deキャンプ入門]

開催日：平成30年7月21日（土）～22日（日）
募集組数：14組 応募組数：21組（応募率：150%）
参加人数：17組

[井川de在来作物体験&そば打ち体験]

開催日：平成30年9月8日（土）～9日（日）
募集組数：14組 応募組数：11組（応募率：79%）
参加人数：11組

[井川de望月将悟氏とトレイルランニング]

開催日：平成30年10月20日（土）～21日（日）
募集人数：50人 応募人数：69人（応募率：138%）
参加人数：54人

[井川deもみじ狩り]

開催日：平成30年11月3日（土）～4日（日）
募集組数：14組 応募組数：19組（応募率：136%）
参加人数：15組



井川 de もみじ狩り

[井川de大人の林間学校]

開催日：平成30年11月15日（木）～16日（金）
募集組数：16組 応募組数：2組（応募率：13%）
参加人数：2組

[井川deクリスマス]

開催日：平成30年12月1日（土）～2日（日）
募集組数：10組 応募組数：14組（応募率：140%）
参加人数：11組

[井川de星空観察&焼き芋づくり]

開催日：平成30年12月8日（土）～9日（日）
募集組数：16組 応募組数：21組（応募率：131%）
参加人数：19組



井川 de 星空観察&焼き芋づくり

③ 送迎バス付利用促進事業

[井川de秋満喫の旅Ⅰ]

開催日：平成30年10月27日（土）～28日（日）
募集人数：40人 応募者数：57人（応募率：143%）
参加人数：34人

[井川de秋満喫の旅Ⅱ]

開催日：平成30年11月10日（土）～11日（日）
募集人数：40人 応募者数：55人（応募率：138%）
参加人数：39人

[井川deスキー&雪遊びⅠ]

開催日：平成31年1月26日（土）～27日（日）
募集人数：40人 応募者数：57人（応募率：143%）
参加人数：40人



井川 de スキー&雪遊びⅠ～Ⅳ

[井川deスキー&雪遊びⅡ]

開催日：平成31年2月2日（土）～3日（日）
募集人数：40人 応募者数：52人（応募率：130%）
参加人数：31人

[井川deスキー&雪遊びⅢ]

開催日：平成31年2月9日（土）～10日（日）
募集人数：40人 応募者数：73人（応募率：183%）
参加人数：37人

[井川deスキー&雪遊びⅣ]

開催日：平成31年3月2日（土）～3日（日）
募集人数：40人 応募者数：56人（応募率：140%）
参加人数：41人

【事業No.39】 学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供

南アルプスユネスコエコパーク登録地域である井川の大自然の中で、自然の素晴らしさを感じさせるとともに、学校目標やクラス目標の達成のため、井川自然の家と学校で協力して事業を実施。小中学校の野外活動、宿泊訓練を受け入れ、地域資源を活用した体験プログラム等を提供したほか、利用学校増加に向け市内小学校に対し訪問活動を実施し、体験プログラム等の紹介を行った。

① 南アルプスユネスコエコパークの理念の普及

職員が、利用学校の受け入れ時にユネスコエコパークに登録された自然について

て紹介した。(利用小中学校全22校に実施)

環境創造課と連携し、自然の家を利用する小学校へ事前学習として南アルプスユネスコエコパーク出前授業を行った。(1校実施)

② 命をいただく学習(あまごの串焼き体験)

井川で育ったあまごの串焼き体験を通して、命をいただくことの大切さを伝えた。(8校実施)

③ エコクッキング

野外炊飯活動を通して、環境保護の大切さを伝えた。(18校実施)

【事業No.42】社会科副読本との連携

平成30年度中に平成31年度版小学校社会科副読本改訂委員会を開催(年2回)し、内容検討、執筆を行った。また、平成28年度版より掲載しているオクシズ及び南アルプスユネスコエコパークに関する内容について、使用する写真やイラスト等の見直しを行い、発行した。

2) 体験教育(修学旅行等)や合宿、企業研修の誘致、受入体制の確立

【事業No.5】静岡型体験観光推進事業

① 教育旅行誘致活動

台湾の教育旅行関係者を対象とした説明会や、首都圏などの学校訪問による誘致活動を官民連携のもと実施した。

② 体験プログラムの開発

静岡市街地から井川地域までを含めた新しい静岡型体験旅行プログラムを作成し、それらを掲載した冊子を更新した。

【事業No.39】学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供(再掲)

【事業No.40】南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家、PR活動

① チラシ、ポスター等の活用

主要事業に関するチラシ、ポスターやトレイルランニングコースマップを掲示、配布した。

〈主な配布先〉

各庁舎、各生涯学習施設、
JR静岡駅北口地下情報発信コーナーしずちカ、
スポーツショップ 等



トレイルランニングコースマップ(12km)

② リピーター層に向けたPR

メール配信システムへの登録を推奨するとともに、主催事業参加者に対し再び利用を促すための情報を配信した。

システム登録件数：1,060件（H29：259件）

③ ホームページ掲載情報の充実

個人利用者の多くが閲覧するホームページ掲載情報を随時更新した。

④ フェイスブックページの活用

井川自然の家のフェイスブックページにて即時性のある情報発信を継続し、いいね・フォロワー数を増加させた。

いいね：339件（H29：242件）

フォロワー：440人（H29：289人）

⑤ ターゲティングメールの配信

トレイルランニングコース（12kmコース）新設及び主催事業の開催に合わせ、トレイルランニング愛好者に対してターゲティングメールを配信し、広く利用を促した。

コース利用者数：190人

3) 教育拠点の整備・充実と効果的な活用

【事業No.12】 静岡市次世代エネルギーパーク

① 普及啓発

静岡市地球温暖化対策情報サイト『つなごうしずおか』の充実を図る等、静岡市次世代エネルギーパークに関する普及啓発を行った。

② 活用推進

各種イベントでパンフレットを配布し、活用促進を図った。

[南アルプスユネスコエコパークの次世代エネルギーパーク関連施設]

- ・ 静岡市南アルプス赤石温泉「白樺荘」（バイオマス熱利用）
- ・ 中部電力井川展示館（水力発電）
- ・ 井川発電所／井川ダム（水力発電）
- ・ 畑薙第一発電所／畑薙第一ダム（水力発電）



赤石温泉「白樺荘」

【事業No.20】 南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンターの整備・活用

① 井川コレクションウォール

井川メンパや在来作物などの井川の特産品を季節に応じて展示した。

② 南アルプスジオラマ

南アルプスの起伏などを感じられる4万分の1スケールのジオラマを展示し、静岡市域における中央新幹線の計画ルートも示した。

③ デジタルガイドブック

専用端末で井川地区及び南アルプスを映像等により紹介した。

④ 南アルプスクロスロード

南アルプスユネスコエコパークについて基礎から学べるトンネル状の展示物を整備した。

(2) モニタリングの実施と情報の集約

1) モニタリングの実施

【事業No.10】 南アルプス環境調査 (再掲)

【事業No.13】 高山植物保護事業 (南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業) (再掲)

【事業No.14】 ライチョウ保護事業 (南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業) (再掲)

【組織No.8】 静岡市南アルプス世界自然遺産登録学術検討委員会 (再掲)

2) 産官学民の連携によるモニタリング体制の構築

【組織No.9】 南アルプス自然環境保全活用連携協議会 (再掲)

【組織No.10】 オクシズ在来作物連絡協議会

P 36参照

3) 自然や文化に関わる情報の集約と活用

【組織No.8】 静岡市南アルプス世界自然遺産登録学術検討委員会 (再掲)

3 地域の持続的な発展（経済と社会の発展の機能）

（1）地域の魅力の磨き上げと地域振興

1）地域資源のブランド化と販路開拓の支援

【事業No.4】 葵区魅力づくり事業 ー地域住民の自立促進事業ー

自治会連合会が自主的かつ主体的に実施する地域の取組に対して、関係地域団体や住民の参画を促進することにより、住民主体のまちづくりを以下の2手法により推進した。

① 地域の課題解決提案事業「葵チャレンジャー」の実施

自治会連合会が実施する地域課題の解決に向けた取組を支援することで、地域団体や地域住民の地域の取組への参画を通じ、地域課題の解決を目指した。

〔葵チャレンジャー井川編「焼畑そば試食&温泉入浴」〕

開催日：平成30年4月30日（月・祝）

参加者数：20人 地域参画団体：3団体

〔葵チャレンジャー井川編「あまごの里 釣りまつり」〕

開催日：平成30年5月4日（金・祝）

参加者数：25人 地域参画団体：3団体

〔葵チャレンジャー井川編「大仏まつり」〕

開催日：平成30年10月28日（日）

参加者数：38人 地域参画団体：5団体

〔葵チャレンジャー井川編「冬の井川を訪ねる」〕

開催日：平成30年12月1日（土）

参加者数：15人 地域参画団体：4団体



葵チャレンジャー井川編
「焼畑そば試食&温泉入浴」

② 地域活動参加促進事業「葵トラベラー」の実施

自治会連合会が主体的に実施する地域の取組に、一般参加者を公募・参加させることで、地域住民による地域プロモーションを実施し、更なる住民参画とその定着化を目指した。

〔葵トラベラー井川編「山伏トレッキング&治山事業見学」〕

開催日：平成30年7月21日（土）

参加者数：38人 地域参画団体：4団体

〔葵トラベラー井川編「山の日を井川で楽しむ」〕

開催日：平成30年8月11日（土・祝）

参加者数：37人 地域参画団体：4団体

〔葵トラベラー井川編「地域内住民参画促進事業」〕

開催日：平成30年11月11日（日）

参加者数：80人 地域参画団体：2団体

③ 安倍6村合併50周年記念事業「オクシズコミュニティ NEXT50」の実施

旧安倍6村の自治会連合会が、地域コミュニティ維持、他学区との関係構築による地域コミュニティの拡大を目的として実施した住民主体の取組を、葵区が支援。各地域の50年後を見据えた葵区全体の地域コミュニティ維持・発展を目指した。

[井川合併50周年記念式典]

開催日：平成31年2月1日（金）

概要：自治会連合会が主催し、主に地域住民を対象とした記念講演や舞台「てしゃまんくと浅間さんの石鳥居」の公演などを開催した。

[井川合併50周年記念パネル展]

開催期間：平成31年1月23日（水）～31日（木） 市民ギャラリー

平成31年2月1日（金）～28日（木） 井川ビジターセンター

概要：自治会連合会が主催し、「これまでの井川」にちなんだパネル展を開催した。

【事業No.25】オクシズ在来作物活用事業

① オクシズ在来作物ガイドブックの作成

オクシズ在来作物のPR及び販路拡大、誘客促進につなげるため、3年間の在来作物活用事業の成果を整理した上で、開発した商品等を紹介するためのガイドブックを作成し、市内料理店や全国焼畑フォーラム等のイベントで配布した。

② 新商品開発等事業

[新商品の開発]

- ・井川地区：こうぼうさまビスケットほか雑穀菓子、らっきよちゃん
- ・玉川地区：けつとぼしらっきょう、ズイキの甘辛煮
- ・清沢地区：在来にんにく入り焼肉のたれ

③ 在来作物啓発事業

[オクシズ在来市場]

開催日：平成30年9月29日（土）

会場：静岡浅間神社

[国際日本料理協会新年会総会におけるPR]

開催日：平成31年2月5日（火）

会場：日本平ホテル

[焼畑フォーラムにおける在来作物PR活動]

開催日：平成31年3月16日（土）、17日（日）

会場：南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンターほか

[首都圏におけるオクシズ在来作物PR活動]

- ・観光ホテルにおける在来作物プロモーション

開催日：平成30年7月26日（木）

会場：ホテルニューオータニ（東京都千代田区）

- ・アンテナショップにおけるオクシズ在来作物料理教室及び展示販売の実施

開催日：平成30年12月9日（日）

会場：GOKI Gen3（東京都世田谷区）

【オクシズ在来作物関連イベント】

- ・テレ静万博ブース出展

開催日：平成30年10月6日（土）、7日（日）

- ・松坂屋静岡店ブース出展

開催日：平成30年11月15日（木）～20日（火）

- ・オクシズの夕べ

会場：在来蕎麦たがた

第1回 井川の在来きゅうりを楽しむ会 平成30年8月5日（日）

第2回 静岡の在来蕎麦を楽しむ会 平成30年9月2日（日）

第3回 おおさわ縁側カフェを楽しむ会 平成30年10月8日（月・祝）

第4回 井川に伝わる雑穀を楽しむ会 平成30年11月4日（日）

第5回 梅ヶ島の山の恵みを楽しむ会 平成31年2月11日（日・祝）

第6回 水見色きらく市を楽しむ会 平成31年3月3日（日）

【事業No.26】地域おこし協力隊配置事業

① 地域おこし協力隊の配置

井川地区において、地域おこし協力隊員1名の任期終了に伴い、新たに1名を配置。

② 地域おこし協力隊支援事業補助金

地域おこし協力隊の活動を支援する団体に対し、補助金を交付した。

【事業No.27】おらんとこのこれ一番事業

住民自らが考えた、地域の資源を生かして取り組む振興事業に対して補助金を交付し、特色ある地域の魅力を磨くための支援を行った。

【実績】

- ・両河内地区 両河内に人を呼び込むぞ！元気な両河内を取り戻すぞ！
～ビジターセンターの創出で
「両河内・手わざランド」の拠点作りプロジェクト～
- ・小島地区 地域農作物のブランド化 ～おじまセレクションの開発～
- ・大川地区 そまびと 柚人が届ける、伝統の味と人情
－伝統と革新の融合を目指す商品の開発－

【事業No.5】 静岡型体験観光推進事業（再掲）

【事業No.16】 静岡市MORIガールプロジェクト（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

南アルプス・井川地域の自然、歴史、伝統文化など、当該地域に潜在している魅力を掘り起こし、ターゲットとしている若い世代（20代から30代）に向け、アクセスログの分析結果に基づくニーズに対応した情報を発信した。

① ホームページによる情報発信（SNSの活用）

平成27年度に開設したホームページ“南アルプスde深呼吸「南プス」”にて、井川地域の施設情報や暮らしの魅力などを発信した。

U R L : <https://nanpusu.jp/index.html>

閲覧数：196,382PV（ページビュー）

② 井川地域の魅力発見

初めてでも気軽に参加できるよう各種イベントについて取材を行い、「イベントレポート」としてホームページに掲載した。

取材回数：5回（イベントレポート5件公開）

U R L : <https://nanpusu.jp/event/index.html>



イベントレポート

③ 南アルプス南部登山関係情報の発信

荒川小屋、赤石小屋、百間洞山の家各管理人へ取材を行い、こだわりの食事やおすすめの景色を「山小屋レポート」としてホームページに掲載した。

U R L : <https://nanpusu.jp/yamagoya/index.html>

④ 南アルプスユネスコエコパークのイメージソングによる普及啓発

静岡県内出身の歌手「yosu」作詞・作曲のイメージソングをホームページにて配信した。

U R L : <https://nanpusu.jp/yosu/index.html>

【事業No.22】 南アルプス周辺登山道整備事業

① 吊橋及び新規ルート整備

- ・千枚大吊橋を建設、供用を開始した。
- ・吊橋建設に伴い新規登山道ルートを整備した。

② 既存登山道の整備

- ・崩落箇所等の登山道危険箇所の修繕を実施した。

【事業No.25】 オクシズ在来作物活用事業（再掲）

【事業No.38】 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業（再掲）

【事業No.40】 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家、PR活動（再掲）

3) 積極的な情報発信

【事業No. 1】 移住希望者向け情報発信事業

① 移住支援センターを中心とした首都圏プロモーション

センターに相談員を常駐させるとともに、移住相談会等を開催し、移住希望者へ移住情報を発信した。

相談件数：608件

相談人数：720人



移住支援センター

② ホームページによる情報発信

静岡市の移住・定住情報サイト「いいねえ。静岡生活」により移住情報や本市の魅力を発信し、移住を促進した。

URL：<https://shizuoka-seikatsu.jp/>



移住・定住情報サイト「いいねえ。静岡生活」

③ パンフレットの作成・配布

移住に関する情報を掲載したパンフレットを作成し、配布した。

【事業No.15】 普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

① 南アルプスユネスコエコパーク構成市町村との連携による情報発信

ア) 大井川鐵道きかんしゃトーマス運行イベントでの普及啓発品配布

実施日：平成30年8月3日（金）、17日（金）

会場：大井川鐵道千頭駅（川根本町）

イ) 奥大井ふるさと祭りブース出展

開催日：平成30年11月10日（土）

会場：音戯の郷前特設会場（川根本町）



千頭駅での普及啓発品配布

② 市内・県内における情報発信

ア) 「雷鳥 小さな命とおしい命」写真展開催

実施期間：平成30年4月24日（火）～6月10日（日）

会場：日本平動物園ビジターセンター

イ) 清水エスパルスホームゲームでの南アルプスPR動画放映

実施日：平成30年4月21日（土）、5月12日（土）



雷鳥写真展ポスター

ウ) 広報しずおか「静岡気分」への情報掲載

掲載号：5月号

内容：ライチョウって知ってる？

エ) 南アルプスユネスコエコパーク登録日のPR活動（川根本町と共同実施）

実施日：平成30年6月12日（火）

会場：青葉緑地B1ブロック

オ) 市内公共施設と連携した南アルプスユネスコエコパークの魅力発信展示

実施期間：平成30年5月15日（火）～6月5日（火）

会場：しずチカ

実施期間：平成30年7月13日（金）～30日（月）

会場：清水テルサ

開催日：平成31年2月1日（金）～14日（木）

会場：南部生涯学習センター

開催日：平成31年2月19日（火）～3月4日（月）

会場：入江生涯学習交流館



入江生涯学習交流館展示

カ) 市民団体との協働による写真等展示

催事名：静岡アート&ネイチャーフェスティバル

開催日：平成30年11月6日（火）～11日（日）

会場：静岡市民ギャラリー

キ) TGCしずおか2019出展

開催日：平成31年1月12日（土）

会場：ツインメッセ静岡南館

ク) 南アルプスユネスコエコパークロゴマークの活用

・職員名刺への活用

・PRポロシャツの作成及び着用

ケ) 南アルプス衛星ライブカメラホームページの運用

・牛首峠から見える赤石岳の映像を

ホームページで配信した。

閲覧数：103,066PV（ページビュー）



衛星ライブカメラHP

③ 首都圏等での情報発信

ア) 第6回山小屋サミットへのブース出展

日時：平成30年5月11日（金）～12日（土）

会場：交通会館（東京都千代田区）

来場者数：3,210人

イ) 第6回夏山フェスタへのブース出展

日時：平成30年6月23日（土）～24日（日）

会場：ウインクあいち（愛知県名古屋市）

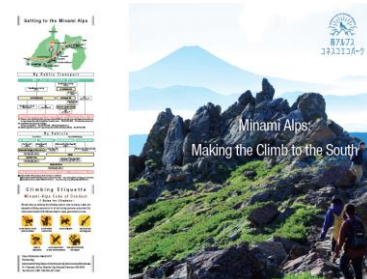
来場者数：7,955人



夏山フェスタブース出展

④ 海外向けの情報発信

- ・会議等で来静外国人へパンフレット、ノベルティを配布し、情報発信を実施した。
- ・富士山静岡空港へ多言語パンフレット「南アルプスの“南”に登ったら」英語版、韓国語版、簡体字版、繁体字版を配架した。



南アルプスの“南”に登ったら(英語版)

【事業No.16】 静岡市MORIガールプロジェクト (南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業) (再掲)

【事業No.25】 オクシズ在来作物活用事業 (再掲)

【事業No.26】 地域おこし協力隊配置事業 (再掲)

【組織No.7】 南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会 (再掲)

4) 地域資源の持続可能な利用

【事業No.9】 中山間地域への再生可能エネルギー導入促進事業

再生可能エネルギーの導入に向け、よりポテンシャルが有望な箇所を検討するとともに、導入に向けた事業スキームの整理を行った。

【事業No.11】 静岡市森林環境アドプト事業

① 森林整備計画の検討・整備実施

森林地域の恩恵を受ける都市地域の企業・団体等の寄附により、二酸化炭素の吸収に必要な森林の整備を行った。

[実績]

平成23～26年度	葵区俵峰地区	32.1ha
平成27～29年度	清水区河内地区	41.24ha
平成30年度～	葵区井川地区	13.14ha

② 森林環境アドプト企業認定証授与式の開催

参加企業に静岡市森林環境アドプト実行委員会から「静岡市森林環境アドプト企業認定書」を授与し、静岡市長から感謝状を贈呈した。

開催日：平成30年10月31日(水)

会場：静岡市役所

③ しんきんビジネスマッチング静岡2018への参加

企業ブースにてパネル等を展示し、本市の森林環境アドプト事業をPRした。

開催日：平成30年10月10日(水)

会場：ツインメッセ静岡

④ 新規寄付企業の開拓

平成30年度より、新たに6社が森林環境アドプト企業へ加入した。

【事業No.24】 野生鳥獣被害対策事業

野生鳥獣による農作物等の被害を防除するため、農林業者等への助成、有害鳥獣の捕獲事業等を行った。

① 農林業者等への助成（防除事業）

個別型	：111件	7,233千円	18.1ha	
団体型	：46件	8,305千円	19.2ha	
地域一体型	：8件	46,648千円	39.5ha	
合計	：165件	62,186千円	73.2ha	※全市実績

② 有害鳥獣捕獲事業

	捕獲実績数	報償金額	
ニホンザル	：313頭	9,390千円	
ニホンジカ	：670頭	13,400千円	
イノシシ	：1,594頭	23,910千円	
カラス	：134羽	67千円	
アライグマ	：139頭	695千円	
ハクビシン	：250頭	1,250千円	
合計	：3,100頭	48,712千円	※全市実績

【事業No.28】 林業担い手育成対策事業

林業労働災害の発生防止等を支援するため、各種補助金を交付した。

① 林業労働安全衛生対策事業補助金

労働災害防止等の就労環境改善に必要な経費を助成した。

② 林業労務者振動病対策事業補助金

振動機械の使用による障害の予防対策の一環として、林業、製材業関係者が実施する特殊健康診断に対する経費を助成した。

(2) 将来を担う人材育成と受入体制・環境づくり

1) 地域資源をつなげる人材の育成

【事業No.15】 普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

2) 地域の担い手育成

【事業No.1】 移住希望者向け情報発信事業（再掲）

【事業No.15】 普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.23】 中山間地移住促進事業

① 空き家情報の発信

ホームページ「中山間地域空き家情報バンク」により情報を発信した。

URL : <http://www.okushizuoka.jp/live/article/post.html>

[利用実績] 6件

水見色地区	1件	平成30年5月契約
大河内地区	1件	平成30年6月契約
玉川地区	2件	平成30年7月・11月契約
大川地区	2件	平成30年11月・平成31年3月契約

※平成31年3月31日現在登録件数 17件

② 移住者支援

ア) 中山間地域移住者用住宅改修事業補助金

空き家情報バンクに掲載されている賃貸住宅の改修にかかる経費に対し、補助金を交付した。

[交付実績] 5件

大河内地区	1件	平成30年4月交付	1,000千円
(清水区) 両河内地区	1件	平成30年5月交付	1,000千円
玉川地区	2件	平成30年7月交付	1,000千円
		平成31年1月交付	1,000千円
大川地区	1件	平成31年1月交付	985千円

イ) 中山間地域移住報奨金

移住後6月以上の居住実績があり、交付後5年間の生活の様子を情報発信し、市の実施する移住促進事業に協力する者に対し、報奨金を交付した。

[交付実績] 7件

玉川地区	3件	平成30年7月交付	800千円
		平成30年11月交付	600千円
		平成31年3月交付	400千円
大川地区	1件	平成30年7月交付	400千円
梅ヶ島地区	1件	平成30年9月交付	400千円
大河内地区	1件	平成31年1月交付	400千円
(清水区) 両河内地区	1件	平成31年3月交付	400千円

【事業No.26】 地域おこし協力隊配置事業 (再掲)

【組織No.10】 オクシズ在来作物連絡協議会 (再掲)

3) 交流人口の増加

【事業No.3】井川湖畔遊歩道草刈業務（遊歩道維持管理業務）

① 遊歩道の維持管理

井川湖畔遊歩道の快適な利用と景観の美化を維持するため、遊歩道の除草作業等の維持管理を行った。

- ・遊歩道草刈り 平成30年7月9日（月）
8月9日（木）～10日（金）
10月17日（水）3回実施
- ・遊歩道巡回（ゴミ拾い、折れ枝等撤去、遊歩道パンフレットの補充、看板等の補修） 23回実施



井川湖畔遊歩道

② パンフレット置き場の再整備

井川ダム付近（井川駅、遊歩道入口、渡船乗り場）のパンフレット置き場を再整備し、来訪者が井川湖畔遊歩道及び渡船を含めた井川地区全体のルート情報を入手できるようにした。

【事業No.5】静岡型体験観光推進事業（再掲）

【事業No.15】普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.20】南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンターの整備・活用（再掲）

【事業No.30】静岡市道路休憩施設

既存の観光・地域振興施設と連携を図り、道路利用者へ駐車場とトイレを提供することで、道路利用者の安全性及び利便性を向上させることを目的に道路休憩施設を設置している。平成30年度は、オクシズドライブマップを道路計画課、中山間地振興課、各静岡市道路休憩施設（有人）、各区役所1階総合案内等に配架し、広報活動を行った。

【事業No.40】南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家、PR活動（再掲）

【組織No.1】大井川流域振興連絡会

P31参照

【組織No.7】南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会（再掲）

【組織No.9】南アルプス自然環境保全活用連携協議会（再掲）

4) 観光地としてのレベルアップ

【事業No.25】 オクシズ在来作物活用事業（再掲）

【事業No.30】 静岡市道路休憩施設（再掲）

5) 交通アクセスの向上

【事業No. 2】 井川湖渡船運航業務

① 渡船運行

[実績]

年間運航回数：1,413回

年間乗客数：3,760人



井川湖渡船

② 渡船関係施設の維持管理

- ・湖水面の上昇、下降に伴う棧橋の移動及び乗場の流木、ゴミ、土砂等の撤去を実施した。
- ・井川本村乗場の歩道整備及び草刈り、宮向（井川本村乗場対岸部）乗場の階段及び歩道整備を実施した。

③ 渡船パンフレットの作成

渡船のパンフレットを作成し、井川自然の家や井川ビジターセンター等の近隣施設に配架し、各施設訪問者及び宿泊者の誘客を図った。

④ 缶バッジ配布

井川支所と静岡産業大学との協働事業及び井川自然の家事業（トム・ソーヤキャンプ）にてデザイン、作成した缶バッジを渡船利用者に配布し、誘客を図った。



缶バッジ

⑤ イベントの開催

・井川湖上音楽祭り

日 時：平成30年8月11日（土）～16日（木）

来場者数：639人

乗 船 数：439人

・第2回井川湖渡船祭り

日 時：平成30年10月28日（日）

来場者数：329人

乗 船 数：161人

- ・上記両イベント会場にて、井川茶と井川茶を原料としたお茶かりんとうを無料にて提供し、特産品をPRした。

⑥ 新航路の就航

井川ダム～宮向（井川本村乗場対岸部）航路を新規就航し、井川自然の家利用者の回遊性を向上させた。

⑦ フェイスブックの活用

平成29年度より井川観光協会と協働して立ち上げたフェイスブックを活用し、イベント等の広報に努めた。

【事業No.3】 井川湖畔遊歩道草刈業務（遊歩道維持管理業務）（再掲）

【事業No.19】 南アルプスユネスコエコパーク地域内林道の管理（再掲）

【事業No.22】 南アルプス周辺登山道整備事業（再掲）

【事業No.29】 井川地区自主運行バス運行事業

住民の移動手段の確保及び学童輸送や観光客にも対応した自主運行バスを運行した。

〔観光客対応〕

7、8、10、11月の土曜、日曜、祝日の運行ダイヤを増便した。

運行ルート：静岡市葵区横沢～南アルプス赤石温泉白樺荘

利用者数：6,055人／年



井川地区自主運行バス

【事業No.30】 静岡市道路休憩施設（再掲）

【事業No.31】 道路トンネル補修事業

地域住民、来訪者の安心・安全な通行を確保し、交通アクセスの向上を図るため、トンネル点検による要対策箇所の補修を実施した。

・道路トンネルの計画的な維持管理の実施

定期点検により、補修が必要と判定されたトンネルの補修工事を実施した。

補修工事：2箇所（田代第1号トンネル、田代第7号トンネル）

対象道路：（主）南アルプス公園線

【事業No.32】 道路自然災害防除事業（法面）

道路防災点検によって緊急・早期に法面对策が必要と評価された箇所について事業を実施した。

対策工事：1箇所（井川日向2）

対象道路：（主）南アルプス公園線

【事業No.33】 橋脚のある橋りょうの耐震化（橋りょうの耐震化及び健全化）

地域住民や来訪者の安心・安全な道路通行を可能とするため、橋りょうの耐震化及び健全化を実施した。

① 橋りょうの耐震化

[ユネスコエコパーク登録地域内対象橋りょう]

（主）南アルプス公園線 赤土沢橋（平成25年3月15日完成）

（市）上坂本線 所沢橋（耐震化予定）

② 橋りょうの健全化

定期点検の実施により、早期に措置を必要とした橋りょうの確実な補修を行った。（ユネスコエコパーク登録地域内対象15橋りょうのうち、2橋りょう補修完了。）

6) 地域住民や来訪者の安全性・利便性・快適性の確保

【事業No.22】 南アルプス周辺登山道整備事業（再掲）

【事業No.34】 千代田消防署井川出張所維持管理

井川地域住民等の安全を確保し、非常事態に備えた体制を整備するため、井川地域の消防、救急を担う拠点施設となる千代田消防署井川出張所庁舎の維持管理を行った。

【事業No.35】 山岳救助体制の充実

地域住民や来訪者の安全を確保するため、千代田消防署しずはた出張所に山岳救助隊を設置し、山間地域において事故が発生した際には、消防航空隊と連携して捜索、救出、救護を実施した。



山岳救助訓練の様子

【事業No.36】 ヘリコプター南アルプス活動拠点指定

登山者等の非常事態へ迅速に救助・救急対応をするため、登山道にヘリコプターのレスキューポイント及び着陸場を指定するための調査等を実施した。

① 登山調査・上空調査

南アルプスの森林限界以下（樹林帯）登山道に、ヘリコプターから救助隊員をホイスト等で投入できる場所を指定するため、ヘリコプターによる上空からの調査・写真撮影を実施した。また、災害発生率を踏まえ、レスキューポイントが極

端に少なかった赤石岳登山道(大倉尾根2/5)の樹木を伐採(10m四方)し、新たにレスキューポイントを設定した。

また、従来の樫島ロッジ着陸場がリニア関係工事によって使用不可となったため、周辺に新たな着陸場を整備した。

② 資料作成・配布

南アルプス活動拠点資料を更新し、関係機関に配布を行うとともに、他機関との連携による対応を推進した。

【組織No.11】 静岡県山岳遭難防止対策協議会静岡市支部

P 37参照

4 理念の継承と管理運営体制の構築（3つの機能を支える連携機能）

（1）国内外への積極的な情報発信とオール静岡による意識醸成

1）国内外への積極的な情報発信

【事業No.6】海外プロモーション事業

① 現地プロモーション

現地旅行博やセミナー、商談会へ参加し、旅行エージェント等へPRを実施した。

[台北国際旅行博（ITF2018）への出展]

出展期間：平成30年11月23日（金）～26日（月）

[台北マラソンEXPO、台北マラソン会場への出展]

出展期間：平成30年12月6日（木）～8日（土）

[タイ国際旅行フェア（TITF#24）への出展]

出展期間：平成31年2月13日（水）～17日（日）

[パンフレット配架]

配架先：静岡県台湾事務所、ソウル事務所等

② フェイスブック、現地旅行雑誌等を活用した情報発信

ブログ、フェイスブック、インスタグラム、旅行雑誌等を活用し、各現地の人目線で静岡市の魅力を発信した。

- ・台湾の発信力のある著名人によるSNSでの情報発信
- ・台湾の現地新聞にブロガー取材の記事を掲載
- ・韓国国内ブログ運営
- ・タイの発信力のある著名人によるSNSでの情報発信

【事業No.15】普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【組織No.9】南アルプス自然環境保全活用連携協議会（再掲）

2）国際対応

【事業No.5】静岡型体験観光推進事業（再掲）

【事業No.15】普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

3）オール静岡による意識の醸成

【事業No.15】普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.16】静岡市MORIガールプロジェクト（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.17】南アルプス教育推進支援事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.37】自然体験活動指導者育成講座（再掲）

【事業No.38】南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業（再掲）

【事業No.39】学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供
（再掲）

【事業No.42】社会科副読本との連携（再掲）

【組織No.10】オクシズ在来作物連絡協議会（再掲）

（2）産官学民協働による管理運営体制の構築

1）南アルプスユネスコエコパーク全体の管理運営体制の構築

【組織No.9】南アルプス自然環境保全活用連携協議会（再掲）

2）静岡県、川根本町等との連携体制の構築

【組織No.7】南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会（再掲）

4 関連組織の活動状況

実行計画に掲載されている関連組織の活動状況は次のとおりとなります。

【組織No.1】大井川流域振興連絡会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
平成30年度大井川流域振興連絡会総会	平成30年5月29日 島田市民総合施設プラザ	・平成29年度事業の決算報告 ・平成30年度活動計画等の協議
大井川流域PR事業	平成31年3月9日、10日 大井川鐵道千頭駅、SLフェスタ会場	・大井川流域の名産品を集めた物産展の開催 ・物産展のHP作成、SNSでの告知、ポスター等での広告
フォトコンテスト及び写真教室	平成31年3月16日 島田市民総合施設プラザ	・大井川流域の魅力をアピールするためのフォトコンテスト及び写真教室
エコツーリズム推進活動支援事業	平成30年4月1日から 平成31年3月31日	・地域団体支援のための補助金交付

【組織No.2】静岡県中央新幹線工事調整連絡会

平成30年度の開催実績なし

【組織No.3】静岡市中央新幹線整備対策本部

行事・会議名	開催日時・場所	内容
第1回本部会議	平成30年8月22日（水） 午前9時から午前10時30分 静岡市役所 静岡庁舎	基本合意後の対応状況について

【組織No.4】静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
第6回 静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	平成30年10月25日（木） 午前10時～ 静岡市役所 静岡庁舎 本館3階 第三委員会室	JR東海から提出された事後調査報告書（宿舎等工事着手前）に対する市長意見を形成するため、専門的見地からの意見聴取を行った。
第7回 静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	平成31年3月22日（金） 午前10時～ 静岡市役所 静岡庁舎 本館3階 第一委員会室	JR東海から提出された事後調査報告書（工事施工ヤードA造成作業等着手前）に対する市長意見を形成するため、専門的見地からの意見聴取を行った。

【組織No.5】 静岡県中央新幹線環境保全連絡会議

行事・会議名	開催日時・場所	内容
南アルプス自然環境有識者会議 第1回地質構造・水資源部会 (静岡県中央新幹線環境保全連絡会議専門部会に継承)	平成30年8月8日(水) 静岡県庁別館9階 特別第一会議室	<ul style="list-style-type: none"> 中央新幹線工事に係る大井川水資源減少問題と環境影響評価の状況 流域内の水に関する基本的考え方の確認 中央新幹線トンネル工事に伴う課題
南アルプス自然環境有識者会議 第1回生物多様性部会 (静岡県中央新幹線環境保全連絡会議専門部会に継承)	平成30年8月8日(水) 静岡県庁別館20階 第一会議室B	<ul style="list-style-type: none"> 南アルプス生態系の現状確認 南アルプスを取り巻く状況の変化 工事の影響による課題の抽出
南アルプス自然環境有識者会議 第2回生物多様性部会 (静岡県中央新幹線環境保全連絡会議専門部会に継承)	平成30年11月6日(火) 静岡県庁別館9階 特別第二会議室	<ul style="list-style-type: none"> 工事別課題・対策の検討 モニタリングの方法について 河川流量が減少した場合の対策について
南アルプス自然環境有識者会議 第2回地質構造・水資源部会 (静岡県中央新幹線環境保全連絡会議専門部会に継承)	平成30年11月21日(水) 静岡県庁西館4階 第一会議室A・B	<ul style="list-style-type: none"> JR東海が大井川流量を試算したデータの分析
第8回静岡県中央新幹線環境保全連絡会議	平成30年11月21日(水) 静岡県庁本館4階特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> 今後のJR東海との協議方針について 中央新幹線建設事業による環境への影響の検証
静岡県中央新幹線環境保全連絡会議 第1回地質構造・水資源専門部会	平成31年1月25日(金) 静岡県庁本館4階特別会議室	中央新幹線建設工事における大井川水系の水資源の確保及び自然環境の保全等に関する質問書(地質構造・水資源編)に関するJR東海との対話
静岡県中央新幹線環境保全連絡会議	平成31年1月30日(水) 静岡県庁別館21階会議室	中央新幹線建設工事における大井川水系の水資源の確保及び自然環境の保

第1回生物多様性専門 部会		全等に関する質問書（生物多様性編） に関する JR 東海との対話
静岡県中央新幹線環境 保全連絡会議 「地質構造・水資源専 門部会」「生物多様性 専門部会」合同会議	平成 31 年 3 月 13 日（水） 静岡県庁本館 4 階特別会議室	「中央新幹線建設工事におけるリス ク管理に関する基本的考え方」につい ての事業者との対話
静岡県中央新幹線環境 保全連絡会議 第2回地質構造・水資 源専門部会	平成 31 年 3 月 13 日（水） 静岡県庁本館 4 階特別会議室	中央新幹線建設工事における大井川 水系の水資源の確保及び自然環境の保 全等に関する質問書（地質構造・水資 源編）に関する JR 東海との対話
静岡県中央新幹線環境 保全連絡会議 第2回生物多様性専門 部会	平成 31 年 3 月 26 日（火） 静岡県庁西館 4 階第一会議室	中央新幹線建設工事における大井川 水系の水資源の確保及び自然環境の保 全等に関する質問書（生物多様性編） に関する JR 東海との対話

【組織No.6】南アルプス自然環境保全活用連携協議会 ニホンジカ対策WG
(旧南アルプス高山植物等保全対策連絡会)

行事・会議名	開催日時・場所	内容
第1回 WG 会議	平成 31 年 1 月 31 日（木） 13:15~15:15 南アルプス市白根支所 2 階 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度ニホンジカ対策実施報告 及び平成 31 年度実施計画について ・南アルプス及びその周辺におけるニホ ンジカ生息状況等について ・環境省実施の植生モニタリングの結果 について ・研究発表「ニホンジカ問題の解決に向 けてーエコパークの視点からー」 ・南アルプスにおけるニホンジカ対策の 課題等に関するアンケートについて

【組織No.7】南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
平成 30 年度総会	平成 30 年 6 月 5 日（火） 10:30~ 静岡市役所本館 4 階 44 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度の事業報告・収支決算 ・会則の改正について ・平成 30 年度の事業計画（案）・収支 予算（案） ・補助金交付要綱の制定について
担当者会議	平成 31 年 3 月 6 日（水）	・平成 30 年度の事業経過

	10:30～ 静岡市役所本館 4 階 43 会議室	・平成 31 年度以降の実施事業
井川と川根をつなぐ 「いかわね新聞」編集 部会	第 1 回：平成 30 年 4 月 17 日（火） 13:15～静岡市役所井川支所 第 2 回：平成 30 年 5 月 7 日（月） 13:15～川根本町役場総合支所 第 3 回：平成 30 年 7 月 24 日（火） 13:15～静岡市役所井川支所 第 4 回：平成 30 年 9 月 12 日（水） 13:15～川根本町役場総合支所	地域の資源や魅力、ユネスコエコパークの理念、最新情報等を共有・発信することを目的として、昨年度に引き続き、「いかわね新聞」第 10 号及び第 11 号の発行とそれに係る編集部会を開催した。
井川と川根をつなぐ 「いかわね新聞」発行	・第 10 号（7 月 1 日号） ・第 11 号（12 月 1 日号）	

【組織No.8】静岡市南アルプス世界自然遺産登録学術検討委員会

平成30年度の開催実績なし、委員会設置要綱廃止

【組織No.9】南アルプス自然環境保全活用連携協議会（旧南アルプス世界自然遺産登録推進協議会）

行事・会議名	開催日時・場所	内容
2018新宿御苑みどり フェスタへの参加	平成30年 4 月 29 日（日） 新宿御苑（東京都新宿区）	南アルプスの素晴らしい自然や本会の事業活動、南アルプスユネスコエコパークにおける構成市町村の活動を広く周知するため、環境省が主催するイベント事業に参加した。
平成30年度総会の開催	平成 30 年 5 月 24 日（木） ブライダルホール魚覚 （山梨県南アルプス市）	平成 29 年度事業報告、平成 30 年度事業計画、役員改選、負担金見直しに伴う規約改正等について協議した。
平成30年度幹事会の 開催	第 1 回：平成 30 年 4 月 26 日（木） 静岡市役所清水庁舎 （静岡県静岡市） 第 2 回：平成 31 年 2 月 21 日（木） 富士見町役場 （長野県諏訪郡富士見町）	本会事業活動を効率的に推進するため、南アルプス地域を取り巻く課題を整理し検討を行うため、幹事会、調整会議等を開催した。
平成 30 年度調整会議の 開催	第 1 回：平成 30 年 4 月 18 日（水） 南アルプス市役所 （山梨県南アルプス市） 第 2 回：平成 30 年 12 月 20 日（木）	

	白州・尾白の森名水公園 (山梨県北杜市)	
地域連絡会議の開催	第1回：平成30年6月28日(木) エコパ伊奈ヶ湖 (山梨県南アルプス市) 第2回：平成30年8月23日(木) 高遠城址公園 (長野県伊那市) 第3回：平成30年10月25日(木) ウッドハウスおろくぼ (静岡県榛原郡川根本町) 第4回：平成30年12月20日(木) 白州・尾白の森名水公園 (山梨県北杜市)	構成市町村及び関係機関の情報共有、課題の整理、職員研修等を図るため、構成市町村会場にて会議を開催した。
各課題に対応したワーキンググループ(WG)の設置	(1) 登山道誘導標識 WG(担当：長野県伊那市) (2) 情報発信 WG(担当：山梨県韮崎市) (3) 看板表示 WG(担当：山梨県北杜市) (4) ユネスコエコパーク定期報告 WG(担当：長野県飯田市) (5) 管理運営計画 WG(担当：山梨県南アルプス市) (6) ニホンジカ対策 WG(担当：環境省 関東地方環境事務所) (7) ライチョウ保護 WG(担当：静岡県静岡市) (8) 林道 WG(担当：長野県伊那市)	南アルプスの抱える多様な課題に対応すべく、構成市町村に参加を加えたメンバーで8つのWGを設置し、各関係者が主体的に課題に取り組んだ。
ユネスコエコパーク推進事業【南アルプスライチョウサポーター制度の運用】	(1) ライチョウサポーター養成講座 静岡会場： 平成30年5月26日(土) 静岡県総合研修所もくせい会館 (静岡県静岡市)	サポーター養成講座は4会場で開催し、計365名を新たにサポーターとして認定した。また、ふじのくに地球環境史ミュージアム及び東京都恩賜上野動物園(ライチョウ域外保全事業実施施設)と連携し、認定した

	<p>首都圏会場： 平成30年5月27日（日） ワイム貸会議室高田馬場 （東京都新宿区）</p> <p>長野会場： 平成30年12月2日（日） 富士見グリーンカルチャーセンター （長野県諏訪郡富士見町）</p> <p>山梨会場： 平成31年2月24日（日） 甲斐駒センターせせらぎ （山梨県北杜市） （2）フォローアップ研修</p> <p>静岡会場： 平成31年1月19日（土） ふじのくに地球環境史ミュージアム （静岡県静岡市）</p> <p>首都圏会場： 平成31年1月26日（土） 東京都恩賜上野動物園 （東京都台東区）</p>	<p>サポーターを対象にフォローアップ研修を開催した。</p>
<p>ユネスコエコパーク推進事業【日本ユネスコエコパークネットワーク（JBRN）への参画】</p>	<p>（1）JBRN 運営 WG 1回目：平成30年7月20日（金） イオンタワー （千葉県千葉市） 2回目：平成31年1月21日（月） 日本自然保護協会 （東京都中央区） （2）JBRN2018 大会（中止）</p>	<p>国内登録地域間での情報交換及びユネスコ MAB 計画の動向、各種イベント・国際会議等の報告を通じ、ユネスコエコパークの国内推進を図ると共に、JBRN とイオン環境財団の連携について協議した。</p>
<p>南アルプスユネスコエコパーク科学委員会の開催</p>	<p>平成31年2月1日（金） 南アルプス市地域防災交流センター （山梨県南アルプス市）</p>	<p>南アルプスユネスコエコパーク全体の管理運営に関する学術的視点からの助言や調査研究を行うため、科学委員会を設置。ユネスコエコパークの現況から求められる今後の取組みについて協議を行った。</p>

【組織No.10】 オクシズ在来作物連絡協議会

平成30年度の開催実績なし

【組織No.11】 静岡県山岳遭難防止対策協議会静岡市支部

行事・会議名	開催日時・場所	内容
春山登山相談所の開設	平成30年4月27日(金) ～5月6日(日) 沼平登山指導センター	登下山届の提出指導及び受付、コース・装備の指導、気象・交通状況の案内、遭難事故防止の呼びかけ等
平成30年度静岡県山岳遭難防止対策協議会静岡市支部総会	平成30年6月5日(火) 10時00分～12時00分 静岡市林業センター会議室	・平成29年度事業報告及び収支決算について ・平成30年度事業計画及び収支予算について ・事務局からの連絡事項 ・遭難事故防止にかかる講演 他
「南アルプス登山観光情報」の発行	平成30年7月上旬	南アルプスの登山ルート、注意事項、山小屋一覧等を掲載した「南アルプス登山観光情報」を作成した。
夏山登山相談所の開設	平成30年7月13日(金) ～9月2日(日) 畑薙第一ダム夏季臨時駐車場	春山登山相談所の開設に同じ。
登山道調査	① 平成30年8月2日(木) ～3日(金) 南アルプス (荒川岳周辺登山道) ② 平成30年9月19日(水) 南アルプス(千枚岳登山道)	実歩により登山道調査を実施し、国土地理院が発行する地図上に誤って記されていた登山道を修正した。
冬山登山相談所の開設	平成30年12月28日(金)～ 平成31年1月3日(木) 沼平登山指導センター	春山登山相談所の開設に同じ。

5 モニタリング実施状況

平成30年度のモニタリングの実施状況を集約しました。

(1) モニタリング実施項目

モニタリング項目		
区分	項目	
生活環境	※未実施。中央新幹線建設事業工事最盛期を中心に再度大気質、騒音・振動、水質等環境調査を実施予定。	
自然環境	動植物の状況	植物、哺乳類、鳥類、爬虫類・両生類、淡水魚類、昆虫類、底生動物（環境創造課）
	希少種の生息・生育状況	ライチョウの生息状況把握調査（環境創造課）
調査・教育	環境教育・学習	<ul style="list-style-type: none"> ・「南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家」利用者数（井川自然の家） ・静岡県「県民の森」利用者数（静岡県くらし・環境部環境局/環境ふれあい課）
	伝統文化等の保存状況	・伝統文化等の保存状況[県指定文化財、市指定文化財]（文化財課）
社会状況	観光振興の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・井川地区内・施設入込客数（中山間地振興課外） ・主要施設利用者数（中山間地振興課） ・交通機関利用者数（井川支所、交通政策課外）
	産業振興の状況	・井川地区事業所数及び従業員数
	地域を取り巻く環境	<ul style="list-style-type: none"> ・井川地区の人口及び世帯数 ・井川地区の高齢化率 ・静岡市立井川小中学校 児童・生徒数（教育総務課）

(2) モニタリングの概要

1) 動植物調査

① 調査項目

植物、哺乳類、鳥類、両生類・爬虫類、淡水魚類、昆虫類、底生動物、



② 調査地点及び時期

中央新幹線建設事業に伴い改変が予想される地域
(5月～11月)

③ 調査結果

確認された43種の指標種・重要種のうち、9種は「中央新幹線環境影響評価手続」では確認されていない種であった。また、この9種のうち3種は平成26年度から実施している本調査でも確認されていない種(植物)であった。



ヒナコウモリ



アオホオズキ



ヒメハナワラビ



ホソバムカシヨモギ

2) ライチョウの生息状況把握調査

① 調査内容

目視調査、痕跡調査、植生調査、生息環境圧迫要因文献調査

② 調査場所及び時期

南アルプス南部 聖岳、茶臼岳、イザルガ岳等 (6～11月)

③ 調査結果

[目視調査、痕跡調査]

平成30年度調査における分布南限地域でのライチョウのなわばり数は4なわばりと推定され、過年度と比較して大きな変化は見られなかった。

[植生調査]

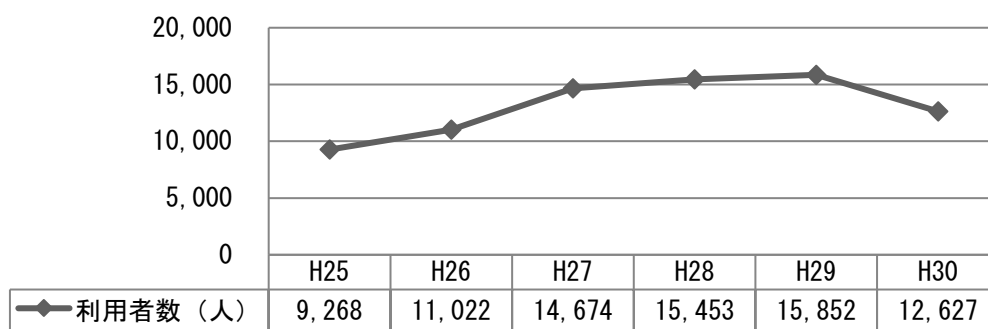
ライチョウの生息環境として、繁殖期にハイマツで営巣することが多く、本調査のイザルガ岳、茶臼岳、上河内岳におけるライチョウ営巣地は、全てハイマツ群落で確認された。またこれら南限生息地は、北アルプスと類似した植生を営巣地として利用していることが確認された。

[生息環境圧迫要因文献調査]

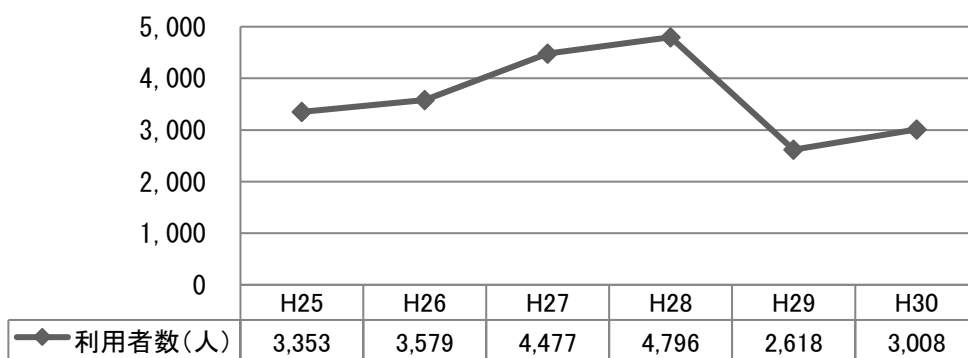
ライチョウの生息環境を圧迫する要因としては、捕食者や生息環境を劣化させる種の高山帯への侵入、登山者や温暖化による圧迫が挙げられるが、いずれも、本地域ではライチョウの生息状況に大きな影響を与えるまでには至っていないと推測される。

3) 環境教育・学習の状況

① 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家利用者数



② 静岡県「県民の森」利用者数



4) 伝統文化等の保存状況

① 県指定文化財

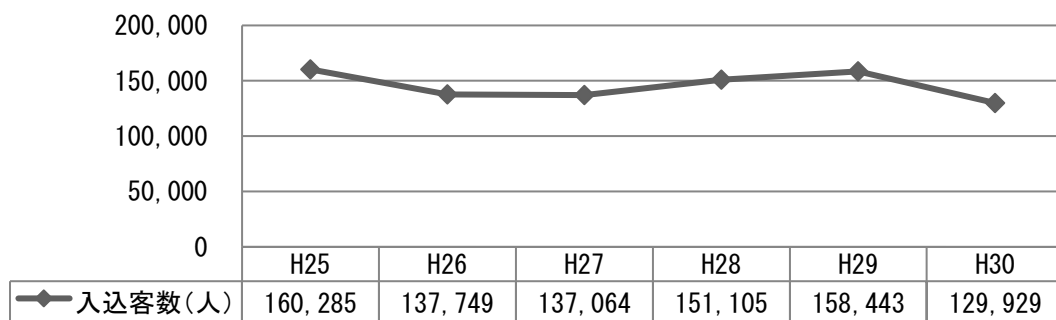
種別	区分	名称	指定日	所在地	所有者
有形文化財	彫刻	木造千手観音立像 ほか3 軀附1 軀	H17. 11. 29	葵区井川 中野観音堂	観音堂別当
民俗文化財	無形民俗文化財	ヤマメ祭	H17. 11. 29	葵区田代	諏訪神社氏子会

② 市指定文化財

種別	区分	名称	指定日	所在地	所有者
有形文化財	建造物	田代の一間造りの 民家	H11. 6. 21	葵区田代	個人蔵
有形文化財	工芸	鰐口	H20. 3. 26	葵区井川	中野観音堂

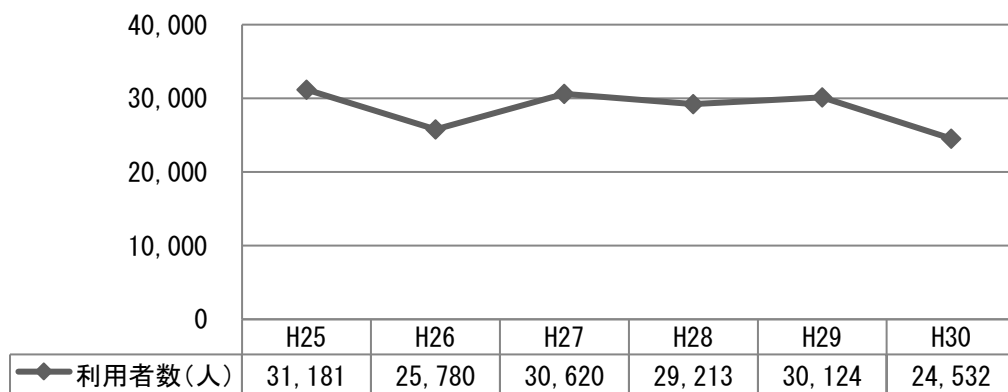
5) 観光振興等の状況

① 井川地区内・施設入込客数

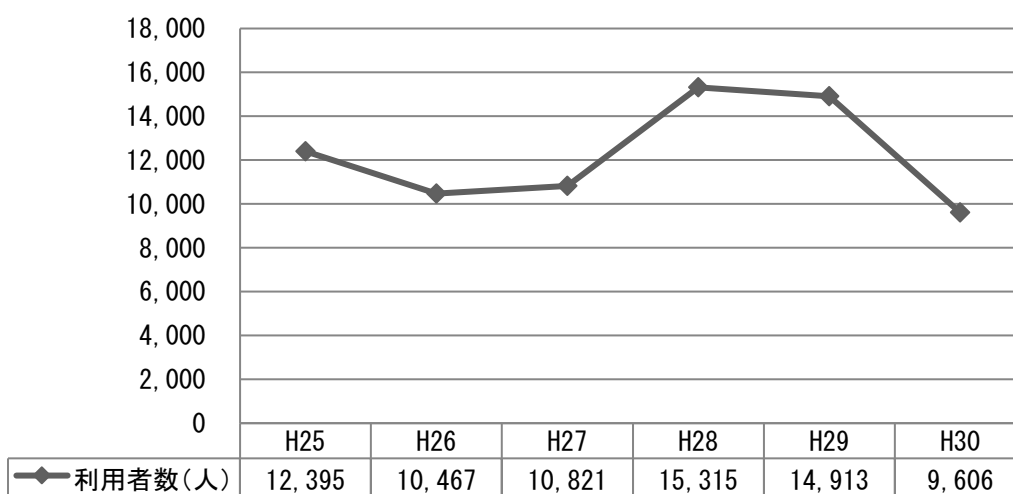


② 主要施設等利用者数

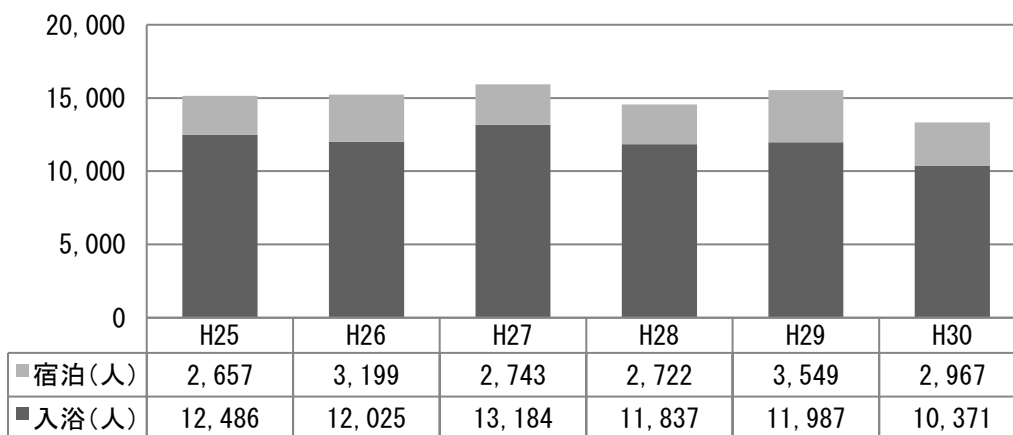
ア) ロッジ、山小屋等利用者数



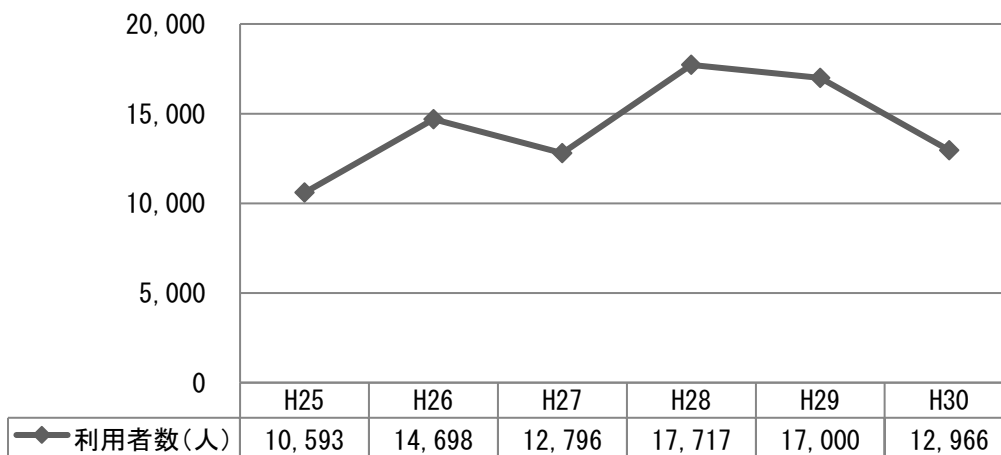
イ) 南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター利用者数



ウ) 南アルプス赤石温泉 「白樺荘」利用者数

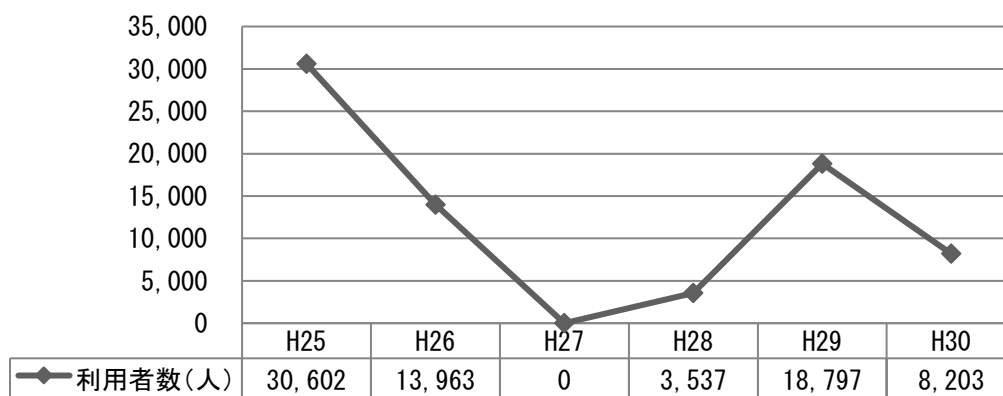


エ) リバウエル井川スキー場利用者数



③ 交通機関利用者数

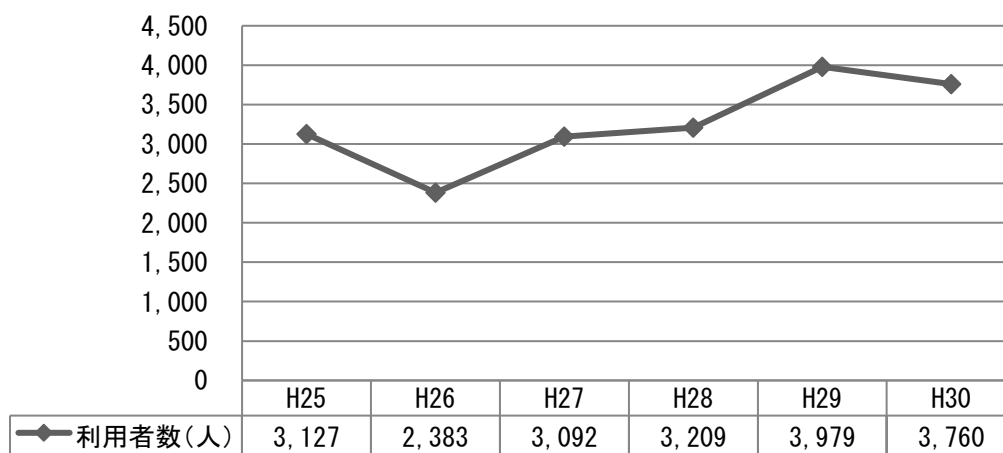
ア) 大井川鉄道井川線（井川駅）利用者数



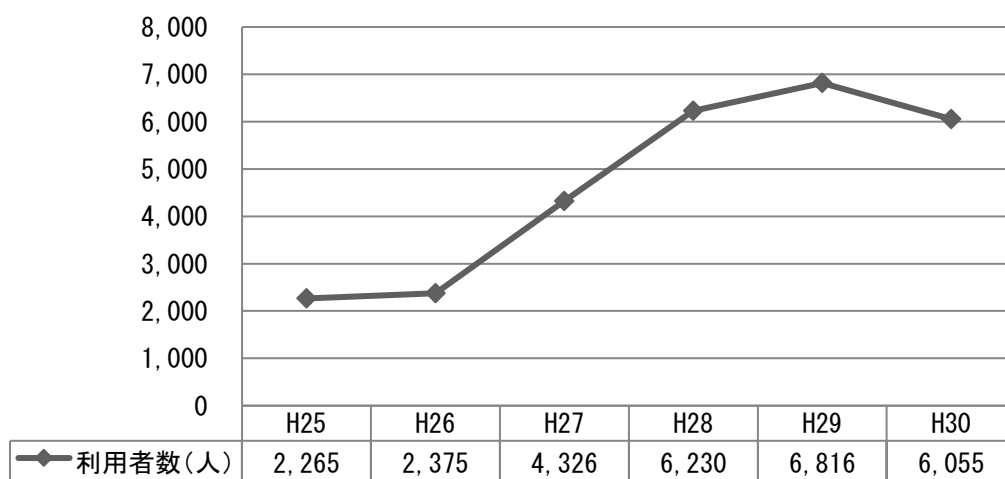
※平成26年9月2日～平成29年3月10日 井川線(接岨峡温泉駅～井川駅間)崩土により運休

※平成30年5月8日～平成31年3月9日 井川線(閑蔵駅～井川駅間)崩土により運休

イ) 井川湖渡船利用者

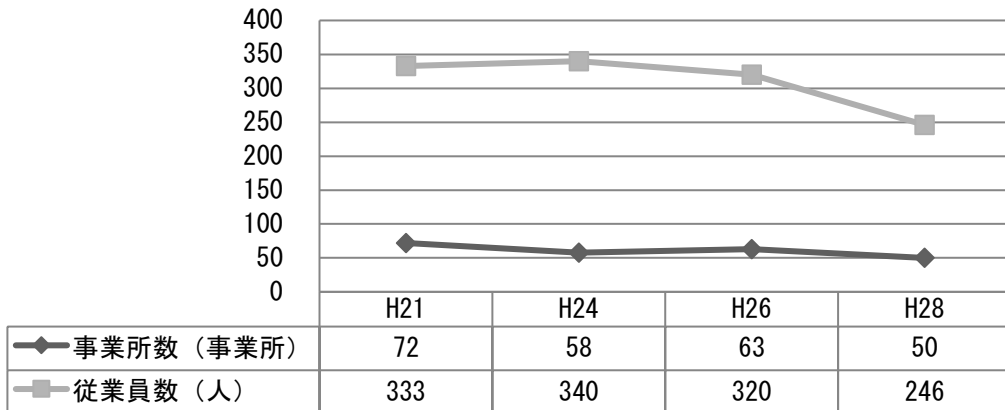


ウ) 井川地区自主運行バス利用者数



6) 産業振興の状況

① 井川地区事業所数及び従業員数

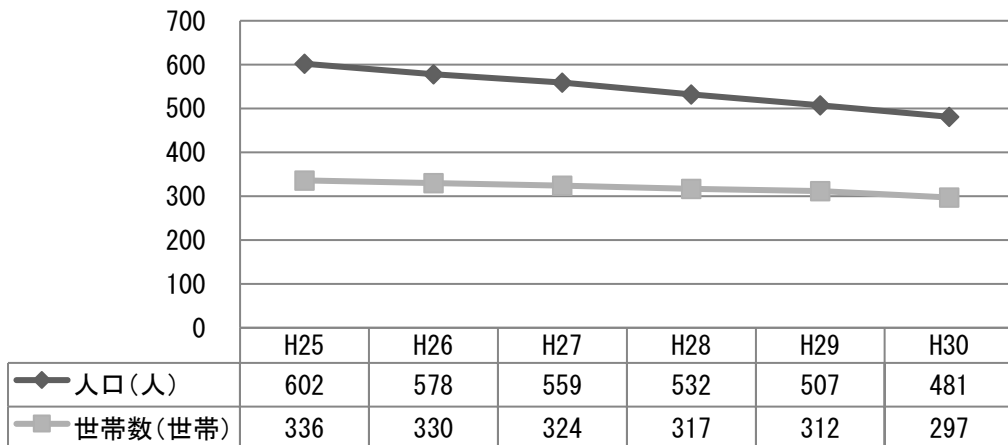


※H21、H26：経済センサス基礎調査（各年7月1日現在）

H24、H28：経済センサス活動調査（平成24年2月1日、平成28年6月1日現在）

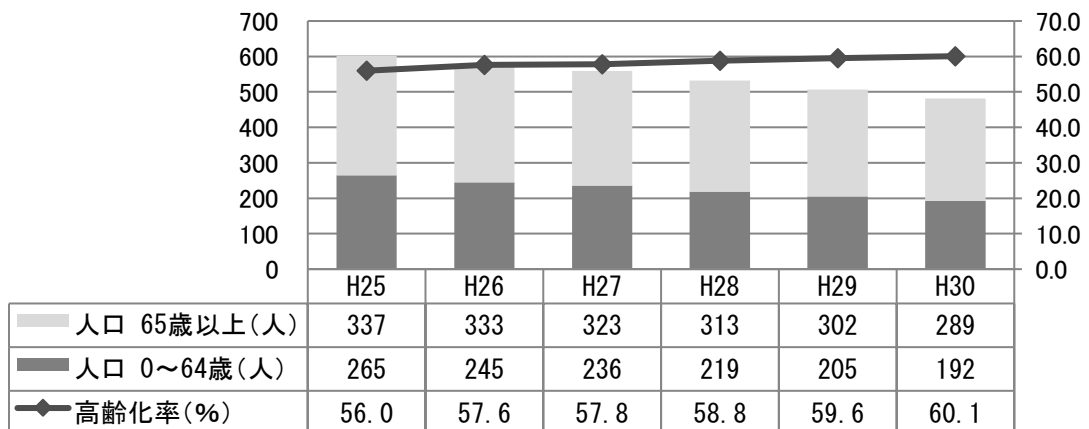
7) 地域を取り巻く環境

① 井川地区の人口及び世帯数



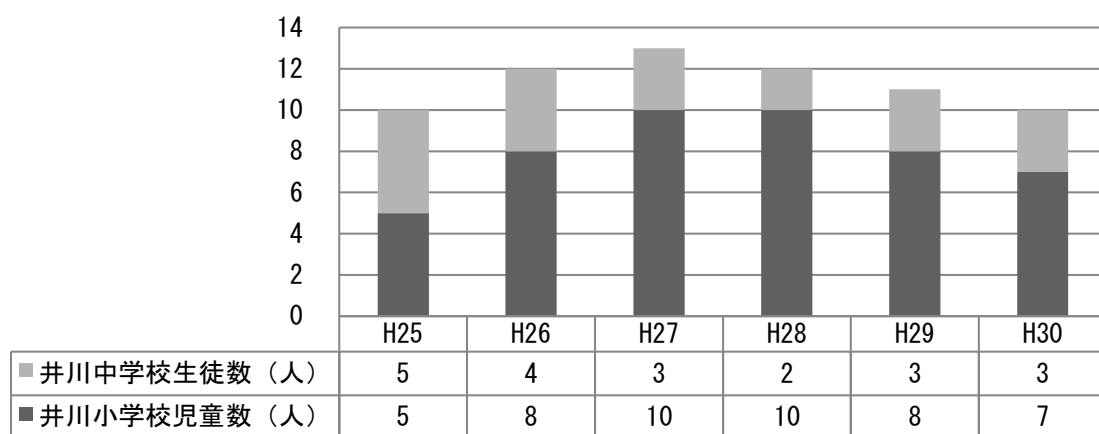
※各年9月30日現在

② 井川地区の高齢化率



※各年9月30日現在

③ 静岡市立井川小中学校 児童・生徒数



※各年5月1日現在

6 実行計画 総合分析

静岡市南アルプスユネスコエコパーク事業の推進にあたっては、静岡市環境政策連携統括会議において、関係局等の連携の確保及び総合的な調整を行います。

同会議の関係局が所管している事業について、各局が平成30年度の取組を分析し、それを総合的に分析した結果（課題の抽出とその改善策・今後の方向性）を以下のとおり示します。

平成 30 年度の取組	P 3～30「平成 30 年度の取組内容」のとおりに
-------------	----------------------------

評価指標の状況	<p>10 項目のうち、5 項目が目標を達成又は概ね達成し、5 項目が達成していない状況である。（詳細は、P 2「評価指標の状況」のとおりに）</p> <p>なお、平成 27 年度に実行計画を策定したため、評価指標の基準年度は、10 項目のうち 8 項目が平成 27 年度、2 項目が 25 年度となっている。</p> <p>また、市政アンケートモニターにより 4 年に 1 度把握する指標が 5 項目となっているため、それらの項目に記載している進捗状況は参考数値となる。</p>
---------	--

基本方針の柱	計画の実行に係る課題	改善策・今後の方向性
1 自然環境の保全	<p>① 中央新幹線建設事業の実施に伴い、自然環境や地域住民の生活への影響が懸念されている。</p> <p>② 南アルプスの自然の象徴である高山植物と、希少なライチョウの保護を拡大するために、市民への周知・啓発及び市民が参加できる施策の展開が必要である。</p> <p>③ 静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の適正な運用が必要である。</p>	<p>① 継続調査が必要なものについてはモニタリングを行い、工事最盛期を中心に再度詳細な環境調査を実施する。これらの環境調査の結果をもとに、必要に応じて事業者に対し指導・要望等を行う。</p> <p>② 市内高校生を対象とした「高山植物保護セミナー」を継続的に実施するとともに、登山者自らがライチョウの分布調査等に協力できるライチョウサポーター制度の運用を継続する。</p> <p>③ 条例の継続的な普及啓発、林道パトロール、林道東俣線のゲート管理を実施する。</p>
2 調査と教育	<p>① 教育教材の活用と南アルプスユネスコエコパークに関する教育の推進が必要である。</p> <p>② 拠点施設である井川ビジターセンターにおいては、来訪者のニーズに対応した適切な運営やプログ</p>	<p>① 井川自然の家と連携し、利用学校を中心に教育教材を活用した学習を実施するとともに、学校の授業等での活用を促す。</p> <p>② 来訪者の様々なニーズに対応した情報発信、南アルプスユネスコエコパークガ</p>

	<p>ラム等の充実が必要である。</p> <p>③ 井川地域での体験プログラム（エコツーリズム）の開発にあたっては、主体となる地域住民の発掘、育成が必要である。</p> <p>④ 自然体験活動指導者登録者数を維持するとともに、指導者のスキルアップに向けた取組を検討する必要がある。</p>	<p>イドによるモニターツアー等を実施し、来訪者の増加につなげる。</p> <p>③ 現地の聞き取り調査や体験プログラムの商品化に向けて地域住民と協働し、受け入れ体制の確立を目指す。</p> <p>④ 自然体験活動指導者の特性に応じて、主催事業への協力を要請するとともに、先輩指導者や井川地域の学識経験者、大学等と連携し、指導者のスキルアップに向けたプログラムを充実させる。</p>
<p>3 地域の持続的な発展</p>	<p>① 交流人口を増やすため、関係機関の連携した取組や情報共有、ターゲットに合わせたきめ細やかな情報発信が必要である。</p> <p>② オクシズ在来作物の認知度の向上や担い手の確保が必要である。</p> <p>③ 道路トンネル補修等の工事实施に伴い、登山・観光シーズンや降雪期を避け交通規制を行う必要がある、地元調整、事業周知等が課題となる。</p> <p>④ 千代田消防署しずはた出張所山岳救助隊との連携の強化や南アルプスの森林限界以下登山道におけるヘリコプター活動拠点の整備が必要である。</p>	<p>① 井川湖渡船やトレイルランニングコース等の地域資源を関係各局、地域団体、大学等と連携し、メール配信システムやSNSも利用したPR強化、活用を図る。</p> <p>② オクシズ在来作物の高付加価値化のためのブランディングや担い手となる団体等を設立し、都市住民との交流の活性化や継続的な活用を図る。</p> <p>③ 設計時から工事工程日数を算出し、限られた工期内に竣工できるよう、事業調整を図るとともに、静岡市道路通行規制情報「しずみち info」等の情報発信ツールを今まで以上に活用する。</p> <p>④ 山岳救助訓練を定期的に行い、技術向上に努めるとともに、活動拠点の調査を定期的に行い、地権者に対し、可能な範囲でヘリコプター活動拠点の整備、また新規整備について協力要請する。</p>
<p>4 理念の継承と管理運営体制の構築</p>	<p>① 市場の動向や旅行会社・旅行者のニーズに即した観光商品の充実を図り、国内外へ向けた積極的な情報発信を展開するとともに、受入れに係る国際対応の促進が必要である。</p> <p>② 地域を動かす人材が不足しており、地域住民のユネスコエコパークの理念や取り組みへの意識醸成が必要である。</p>	<p>① 聴取したニーズや満足度を分析し、観光商品の重点的なプロモーションに取組むほか、首都圏、中京圏でもイベント出展等を通して情報発信を図る。また、受入れに係る課題や対応策を整理する。</p> <p>② 井川支所や地域おこし協力隊と連携し、地域を支える人材を育成、確保する。</p>

(参考) 各事業の平成30年度事業計画及び実施結果

No.	事業名	基本方針の柱	平成30年度事業計画	事業実施結果	所管課	頁
1	移住希望者向け情報発信事業	3	・移住支援センター運営 ・首都圏プロモーション ・HP運営 ・パンフレット配布	計画どおり実施	企画課	19
2	井川湖渡船運航業務	3	・渡船運行 ・関係施設の維持管理	計画どおり実施	井川支所	25
3	井川湖畔遊歩道草刈業務 (遊歩道維持管理業務)	3	・遊歩道維持管理 (除草作業：3回/年、 作業面積：3,787㎡/年)	計画どおり実施	井川支所	24
4	葵区魅力づくり事業 ー地域住民の自立促進事業ー	3	・地域住民との打ち合わせ ・事業の協働実施	計画どおり実施	葵区役所 地域総務課	15
5	静岡型体験観光推進事業	2, 3, 4	・教育旅行誘致活動 ・体験プログラムの開発 (体験プログラム利用件数 目標：1,000件/年)	計画どおり実施	観光・国際 交流課	12
6	海外プロモーション事業	4	・現地プロモーション ・情報発信	計画どおり実施	観光・国際 交流課	29
9	中山間地域への再生可能 エネルギー導入促進事業	3	・地域住民等と連携した事 業スキームの構築	計画どおり実施	環境創造課	21
10	南アルプス環境調査	1	・モニタリング調査	計画どおり実施	環境創造課	6
11	静岡市森林環境アドプト 事業	3	・井川地域における森林整 備の実施	計画どおり実施	環境創造課	21
12	静岡市次世代エネルギー パーク	2	・井川地域の次世代エネル ギーパークを回るバスツ アーを検討、令和元年度 予算へ反映	計画どおり実施	環境創造課	13
13	高山植物保護事業	1, 2	・防鹿柵設置、維持管理 ・担い手育成（高山植物保 護セミナー開催）	計画どおり実施	環境創造課	4
14	ライチョウ保護事業	1, 2	・生息状況把握調査 ・普及啓発事業の実施 ・ライチョウサポーター 制度の運営	計画どおり実施	環境創造課	5
15	普及啓発事業	3, 4	・構成市町村連携による情 報発信 ・市内、県内における情報 発信 ・海外への情報発信 ・首都圏での情報発信 ・地域住民の意識醸成	計画どおり実施	環境創造課	19
16	静岡市MORI ガールブ ロジェクト	3, 4	・HPによる情報発信 ・井川地域の魅力発見 ・HPによるイメージソング の配信	計画どおり実施	環境創造課	18
17	南アルプス教育推進支援 事業	2, 4	・教育教材貸出 ・利用手引きの配布	計画どおり実施	環境創造課	8
18	静岡市南アルプスユネス コエコパークにおける林 道の管理に関する条例の 啓発事業	1	・市HPの維持管理 ・標識の維持管理	計画どおり実施	治山林道課	3
19	南アルプスユネスコエコ パーク地域内林道の管理	1, 3	・林道管理 ・ゲート管理	計画どおり実施	治山林道課	7
20	南アルプスユネスコエコ パーク井川ビジターセン ターの整備・活用	2, 3	・情報発信 ・モニターツアーの実施	計画どおり実施	中山間地振 興課	13

22	南アルプス周辺登山道整備事業	3	・吊橋建設 ・新規登山道整備	計画どおり実施	中山間地振興課	18
23	中山間地移住促進事業	3	・空き家情報の発信 ・移住者支援 ・受入地域支援	計画どおり実施	中山間地振興課	23
24	野生鳥獣被害対策事業	3	・農林業者等への助成 ・有害鳥獣捕獲等 (中山間地全域の目標：平成30年度までに野生鳥獣防除面積400ha)	計画どおり実施	中山間地振興課	22
25	オクシズ在来作物活用事業	3	・普及啓発 ・イベント実施	計画どおり実施	中山間地振興課	16
26	地域おこし協力隊配置事業	3	・協力隊による地域おこし ・補助金（活動支援事業、住宅改修事業）交付 ・新規隊員募集 ・任期終了隊員の定住支援	・協力隊による地域おこし ・補助金の交付 ・協力隊新規2名配置	中山間地振興課	17
27	おらんとこのこれ一番事業	3	・地域の活動支援 (中山間地全域の目標：平成30年度までに新規事業8件認定)	計画どおり実施	中山間地振興課	17
28	林業担い手育成対策事業	3	・補助金等の交付	計画どおり実施	中山間地振興課	22
29	井川地区自主運行バス運行事業	3	・自主運行バスの運行 (365日稼働)	計画どおり実施	交通政策課	26
30	静岡市道路休憩施設	3	・広報活動	計画どおり実施	道路計画課	24
31	道路トンネル補修事業	3	・定期点検 ・補修工事	計画どおり実施	道路保全課	26
32	道路自然災害防除事業 (法面)	3	・測量、設計 ・用地買収、補償 ・対策工事	対策工事実施	道路保全課	26
33	橋脚のある橋りょうの耐震化（橋りょうの耐震化及び健全化）	3	—	事業実績なし	道路保全課	27
34	千代田消防署井川出張所維持管理	3	・消防体制の維持	計画どおり実施	財産管理課	27
35	山岳救助体制の充実	3	・山岳救助体制の充実	計画どおり実施	警防課	27
36	ヘリコプター南アルプス活動拠点指定	3	・登山調査及び上空調査 ・赤石登山道におけるレスキューポイント新規整備 (樹木伐採作業)	計画どおり実施	航空課	27
37	自然体験活動指導者育成講座	2, 4	・指導者育成	計画どおり実施	教育総務課	8
38	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業	2, 3, 4	・主催事業の実施	計画どおり実施	教育総務課	9
39	学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供	2, 4	・自然体験活動の提供	計画どおり実施	教育総務課	11
40	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家、PR活動	2, 3	・PR活動の実施	計画どおり実施	教育総務課	12
42	社会科副読本との連携	2, 4	・副読本の改訂、配布	計画どおり実施	学校教育課	12

※No7, 8, 21, 41 は他事業への引継ぎ若しくは事業が終了されているため、掲載なし。

南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画（静岡市域版）
実行計画 年次報告書（平成 30 年度）

発行年月 令和元年 12 月

発 行 静岡市環境局環境創造課

静岡市葵区追手町 5 番 1 号

電話 054-221-1357 FAX 054-221-1492

E-mail kankyousouzou@city.shizuoka.lg.jp

URL https://www.city.shizuoka.lg.jp/041_000006.html